



報道機関 各位

記者発表資料  
令和3年2月1日（月）  
問い合わせ先：消防企画課  
課長：萩原  
担当：筒井、庭山  
電話：833-7329  
内線：5433

## 令和2（2020）年中の火災・救急・救助統計（概数）を発表します

令和2年1月1日から令和2年12月31日の間における、さいたま市の火災・救急・救助統計（概数）を下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1 火災発生状況

- (1) 出火件数は264件で、前年より12件増加しています。  
種別ごとの件数は、建物火災152件、車両火災28件、その他の火災84件となっています。
- (2) 火災による死者は18人で、前年より4人増加し、平成13年のさいたま市誕生後最多となりました。  
負傷者は44人で、前年より28人減少しています。
- (3) 出火原因の第1位は「放火（疑い含む）」53件、次いで「たばこ」30件、「こんろ」27件、「配線器具」20件、「電灯・電話等の配線」19件の順となっています。  
なお、令和元年はさいたま市誕生後始めて「たばこ」が第1位となりましたが、令和2年は、再び「放火（疑い含む）」が第1位となりました。

#### 2 救急出場状況

- (1) 救急出場件数は62,457件で、前年より7,036件減少しました。  
事故種別で最も多いのは「急病」で40,700件、次に「一般負傷」の9,788件、「交通事故」の3,938件の順となっています。
- (2) 搬送人員は54,143人で、前年より6,858人減少しました。  
年齢区分別の搬送人員は、高齢者が30,731人、成人が18,668人、少年が1,886人、乳幼児・新生児が2,858人となっています。

### 3 救助出場状況

- (1) 救助出場件数は784件で、前年より49件減少しており、直近3年間で最も少ない件数となっています。

事故種別で最も多いのは「建物等による事故」で417件、次いで「その他の事故」148件、「火災」121件、「交通事故」77件の順となっています。

- (2) 救助活動件数は498件で、前年より31件減少し、救助人員は298人で前年より100人減少しています。

### 4 問い合わせ先

- (1) 火災発生状況に関すること

予防課 高垣・田村 電話833-7593 内線5621

- (2) 救急出場状況に関すること

救急課 清宮・奥村 電話833-7981 内線5551

- (3) 救助出場状況に関すること

警防課 立沢・山田 電話833-7991 内線5531

### 5 資料

「令和2（2020）年さいたま市における火災・救急・救助統計（概数）」